



## 新月木って知っている？

私の友人が「木とつきあう知恵」という本を紹介してくれました。ヨーロッパでは昔から言われていた言い伝えで新月木（しんげつぼく）は不思議な力を持っているという。だれもが迷信とおもっていた話が本当であることを突き止めたのがオーストリア人のエルビン・トーマさんという著者なのです。彼は子供の頃、400年も前に建てられた農家の煙突を見たことがありました。なんと、木でできていて、特別な木だから燃えないと言われたそうです。

その後、知り合いが家を建てるのに新月の木を使ったら、腐らない、暴れない、室内の空気を浄化するなど様々な体験があるみになりました。そして、最近流行のシックハウスや電磁波も寄せ付けない木である事がわかりました。

昨年末には帯広でこの本の著者の講演会が開催されました。多くのビルダー関係者も

昨今、環境に対する意識が高まり、リサイクルのなど循環型社会に向けた取り組みを初めとする食べ残した食品や畜産関係の糞などを堆肥化することがよくありますが、米村さんは堆肥づくりの数十年の経験のなかで**堆肥作りは難しく、いい、そしてまだまだわからない事ばかりだ**ということに気づいた数少ない人な

米村さんは良質堆肥作りを長年研究するなかで**5段階のステップを経て良質堆肥を経験的に見つけ出しました**。その判定方法にのっとった堆肥作りは、難しさをだれでもできるように指導する事ができ、**安定した良質堆肥作りが可能**に

その堆肥を試験的に畑作農家に供給し、よい評判も出てきた事から町が**環境に優しい農業研究会**を立ち上げて農業者の堆肥がよい意味で循環をスタート。その中心人物である米村さんを登別に招いてその語りに触れたいと思



米村さん  
ごす!!

**日時**：平成16年3月30日、午  
**場所**：ポスフル2F文化教室（注）  
**申し込み**：下の葉書に参加の希望を  
投函してください。**参加料金は無**  
**締め切り**：平成16年3月28日

### 編集後記

「案ずるより産むが易し」と自分で決めた締め切りに追われて発行した第1号の新聞は誤字脱字、はたまた、締め切り日の間違いのなかでの講演会の開催などでんやわんやの船出であった。それから瞬間に第2号の発行となってしまった。

そんななかで葉書に「参考になりましたこれからも続けてください」と激励されたり、知人からしばらくぶりに「新聞見たよ」など声をかけていただき逆に元気付けられました。ありがとうございます。

月と地球、人間の関係は直接的には何の関係も無いと思っていますが確実に日常の私たちの動きや健康に影響を与えているということだと思えます。**自然は科学すればするほど奥が深い**。現代科学と今の科学を称していますが、あまりにも外見にかたよりすぎて、100年後には非科学的な時代と言われる時が来るかもしれません。

\*昨年7月の荒川設備環境探偵団ホームページから一部引用しました。今年の木材を切るに適した日は一月二十、二十一日と十二月十一、十二日です。

## 特集第2弾 今回の特集は「ピンホ

## ール問題を探る！」です。

ところでピンホールとは一体全体なんだろう？どこかで聞いた事あるよね？

それは住宅の給湯などの銅管の配管が短い寿命で穴があくや、いっしょに不可思議な現象の

## 応募葉書

- ① プレゼントの申請  
プレゼントを希望  
(どちらかに丸印)
- ② 講演会参加申請  
米村さんの講演会に  
どちらかに丸印をつけて
- ② 記事にしてほしい

### 一発行一

㈱荒川設備「環境探偵団」ニュースレター  
編集局（\*1~2ヶ月に1度不定期発行）

〒059-0033

登別市栄町3丁目18番地5

（㈱荒川設備内）